

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年2月13日

【四半期会計期間】 第129期第3四半期(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

【会社名】 黒崎播磨株式会社

【英訳名】 KROSAKI HARIMA CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 江川 和 宏

【本店の所在の場所】 福岡県北九州市八幡西区東浜町1番1号

【電話番号】 (093)622-7224

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員総務人事部長 本 田 雅 也

【最寄りの連絡場所】 福岡県北九州市八幡西区東浜町1番1号

【電話番号】 (093)622-7224

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員総務人事部長 本 田 雅 也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
証券会員制法人福岡証券取引所  
(福岡県福岡市中央区天神二丁目14番2号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第128期 第3四半期 連結累計期間	第129期 第3四半期 連結累計期間	第128期
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高	(百万円)	108,686	105,195	142,347
経常利益	(百万円)	8,804	7,295	11,289
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	5,945	4,767	7,868
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	3,640	3,769	5,456
純資産額	(百万円)	54,451	57,208	56,236
総資産額	(百万円)	138,060	130,113	135,422
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	705.55	565.88	933.76
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	37.2	41.7	39.2

回次		第128期 第3四半期 連結会計期間	第129期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期純利益	(円)	271.92	190.00

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高には、消費税等は含まれていません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載していません。

#### 2 【事業の内容】

当社グループ(当社、連結子会社、持分法適用会社)は、耐火物事業、ファーンエス事業、セラミックス事業、不動産事業、その他の5つのセグメント情報の区分にわたって事業を展開しています。

当第3四半期連結累計期間における、各区分に係る事業内容の重要な変更と主要な関係会社の異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

#### (1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの主要得意先である鉄鋼業界の国内粗鋼生産量は、前年同四半期連結累計期間に比べ4.6%減の7,431万トンとなりました。

##### 【売上高】

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ34億91百万円減少の1,051億95百万円（前年同期比3.2%減）となりました。これは主に、粗鋼生産量の減少に伴う耐火物需要の減少や、ファーンエス事業での大型案件の端境期に伴う受注減等によるものです。地域ごとの売上高は、日本が650億81百万円（前年同期比6.7%減）、インドが178億79百万円（前年同期比2.2%増）、アジアが54億2百万円（前年同期比15.3%減）、欧州が93億65百万円（前年同期比25.6%増）、その他が74億66百万円（前年同期比1.7%減）となり、海外売上高は401億13百万円（前年同期比3.0%増）、海外売上高比率は38.1%（前年同期比2.3ポイント増）となりました。

##### 【売上総利益】

当第3四半期連結累計期間の売上総利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ6億45百万円減少の199億44百万円（前年同期比3.1%減）となりました。売上総利益率は、前年同四半期連結累計期間に比べ0.1ポイント増加の19.0%となりました。

##### 【営業利益】

当第3四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ14億21百万円減少の70億27百万円（前年同期比16.8%減）となり、営業利益率は、前年同四半期連結累計期間に比べ1.1ポイント減少の6.7%となりました。販売費及び一般管理費は、前年同四半期連結累計期間に比べ7億75百万円増加の129億17百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

##### 【経常利益】

当第3四半期連結累計期間の経常利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ15億8百万円減少の72億95百万円（前年同期比17.1%減）となり、経常利益率は、前年同四半期連結累計期間に比べ1.2ポイント減少の6.9%となりました。営業外収益は、為替差益の減少により前年同四半期連結累計期間に比べ1億7百万円減少の8億96百万円（前年同期比10.7%減）、営業外費用は、前年同四半期連結累計期間に比べ21百万円減少の6億27百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

[ 親会社株主に帰属する四半期純利益 ]

当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ11億78百万円減少の47億67百万円（前年同期比19.8%減）となりました。特別利益は、投資有価証券売却益の減少により前年同四半期連結累計期間に比べ17億74百万円減少の1億93百万円（前年同期比90.2%減）、特別損失は、環境対策費の減少により前年同四半期連結累計期間に比べ8億62百万円減少の3億47百万円（前年同期比71.3%減）となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりです。

なお、各セグメントの売上高は、外部顧客への売上高であり、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれていません。また、セグメント利益は営業利益ベースです。

[ 耐火物事業 ]

耐火物事業の売上高は、粗鋼生産量の減少に伴う耐火物需要の減少等により、前年同四半期連結累計期間に比べ1.2%減収の880億89百万円となりました。セグメント利益は、円高の進行及びコストダウンの進展等により、前年同四半期連結累計期間に比べ1.4%増益の54億84百万円となりました。

[ ファーネス事業 ]

ファーネス事業の売上高は、大型案件の端境期に伴う受注減等により、前年同四半期連結累計期間に比べ14.4%減収の109億96百万円となりました。セグメント利益は、売上高の減少等により、前年同四半期連結累計期間に比べ64.4%減益の5億27百万円となりました。

[ セラミックス事業 ]

セラミックス事業の売上高は、主力ユーザーである半導体製造装置業界及び電子部品業界からの需要が減少したこと等により、前年同四半期連結累計期間に比べ10.7%減収の48億95百万円となりました。セグメント利益は、売上高の減少等により、前年同四半期連結累計期間に比べ46.1%減益の4億89百万円となりました。

[ 不動産事業 ]

不動産事業の売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ9.4%減収の6億23百万円、セグメント利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ5.1%減益の5億31百万円となりました。

[ その他 ]

その他の事業セグメントの売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ13.7%増収の5億90百万円、損益は、37百万円のセグメント損失（前年同四半期連結累計期間は11百万円のセグメント利益）となりました。

## (2) 財政状態の状況

### 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ53億9百万円減少して、1,301億13百万円となりました。流動資産は同67億14百万円減少の823億80百万円、固定資産は同14億4百万円増加の477億32百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、売上減に伴う受取手形及び売掛金の減少によるものです。固定資産増加の主な要因は、建物の取得に伴う建物及び構築物の増加、並びに機械装置の取得に伴う機械装置及び運搬具の増加によるものです。

### 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ62億81百万円減少して、729億4百万円となりました。流動負債は同132億66百万円減少の494億35百万円、固定負債は同69億84百万円増加の234億68百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、短期借入金の減少によるものです。固定負債増加の主な要因は、長期借入金の増加によるものです。

### 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ9億72百万円増加して、572億8百万円となりました。

純資産増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものです。

## (3) 資本の財源及び資金の流動性に係る情報

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ14億52百万円減少し、39億23百万円となりました。また、当第3四半期連結累計期間末における借入金及びリース債務を含む有利子負債の残高は、前連結会計年度末に比べ2億83百万円減少し、356億66百万円となりました。設備等固定資産の取得は増加したものの、売上債権の減少により資金需要は減少しました。

## (4) 経営方針・経営戦略等及び経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等

当第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間末から当第3四半期報告書提出日（2020年2月13日）までの間において、経営方針・経営戦略等及び経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標等（以下「経営方針等」といいます。）について、既に提出した有価証券報告書に記載された内容に比べて重要な変更及び新たに定めた経営方針等はありません。

## (5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (6) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は6億78百万円です。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第2 [事業の状況] の金額には、消費税等は含まれていません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	35,000,000
計	35,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,114,528	9,114,528	東京証券取引所 (市場第一部) 福岡証券取引所	単元株式数は100株です。
計	9,114,528	9,114,528	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年12月31日	-	9,114,528	-	5,537	-	5,138

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 689,900	-	-
	（相互保有株式） 普通株式 100	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 8,329,300	83,293	-
単元未満株式	普通株式 95,228	-	-
発行済株式総数	9,114,528	-	-
総株主の議決権	-	83,293	-

(注) 1 「完全議決権株式（その他）」欄の普通株式には、(株)証券保管振替機構名義の株式600株（議決権の数6個）が含まれています。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式67株と(株)証券保管振替機構名義の株式37株が含まれています。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
（自己保有株式） 黒崎播磨(株)	福岡県北九州市八幡西区 東浜町1-1	689,900	-	689,900	7.57
（相互保有株式） (株)合同セラミックス	岡山県備前市伊部936	100	-	100	0.00
計	-	690,000	-	690,000	7.57

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっていますが、実質的に所有していない株式が100株（議決権の数1個）あります。

なお、当該株式は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式（その他）」欄の普通株式に含めています。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

(注) 前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における、取締役を兼務しない執行役員の異動は次のとおりです。

(1) 退任役員

役職名	氏名	退任年月日
執行役員 営業本部第一営業部大分支店長	小林 健治	2019年12月4日



## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しています。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けています。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,378	3,926
受取手形及び売掛金	2 53,112	2 47,560
商品及び製品	12,348	12,522
仕掛品	3,870	3,788
原材料及び貯蔵品	10,815	10,348
その他	3,913	4,583
貸倒引当金	344	348
流動資産合計	89,094	82,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,057	40,821
減価償却累計額	28,443	28,739
建物及び構築物（純額）	10,614	12,081
機械装置及び運搬具	62,232	63,832
減価償却累計額	53,788	54,252
機械装置及び運搬具（純額）	8,444	9,579
工具、器具及び備品	4,557	4,535
減価償却累計額	3,807	3,715
工具、器具及び備品（純額）	750	819
土地	6,856	6,796
建設仮勘定	3,017	2,615
有形固定資産合計	29,684	31,892
無形固定資産		
のれん	5,742	5,103
その他	496	482
無形固定資産合計	6,238	5,586
投資その他の資産		
投資有価証券	6,475	6,445
長期貸付金	0	0
退職給付に係る資産	1,963	1,820
繰延税金資産	471	449
その他	1,666	1,705
貸倒引当金	174	167
投資その他の資産合計	10,404	10,253
固定資産合計	46,328	47,732
資産合計	135,422	130,113

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 16,407	2 14,228
電子記録債務	2 7,944	2 7,647
短期借入金	17,164	7,569
コマーシャル・ペーパー	7,000	10,000
未払法人税等	2,698	645
賞与引当金	2,757	1,588
工事損失引当金	243	93
環境対策引当金	1,013	68
その他	7,473	7,595
流動負債合計	62,702	49,435
固定負債		
長期借入金	11,785	17,812
繰延税金負債	280	1,030
役員退職慰労引当金	550	572
製品保証引当金	2	1
退職給付に係る負債	605	575
資産除去債務	25	25
その他	3,234	3,450
固定負債合計	16,483	23,468
負債合計	79,186	72,904
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,537	5,537
資本剰余金	2,000	2,000
利益剰余金	46,771	49,116
自己株式	1,633	1,638
株主資本合計	52,676	55,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,598	1,828
繰延ヘッジ損益	15	28
為替換算調整勘定	1,508	2,862
退職給付に係る調整累計額	277	212
その他の包括利益累計額合計	383	792
非支配株主持分	3,176	2,984
純資産合計	56,236	57,208
負債純資産合計	135,422	130,113

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	108,686	105,195
売上原価	88,095	85,250
売上総利益	20,590	19,944
販売費及び一般管理費	12,141	12,917
営業利益	8,449	7,027
営業外収益		
受取利息	16	20
受取配当金	112	126
持分法による投資利益	296	359
為替差益	253	154
その他	324	235
営業外収益合計	1,004	896
営業外費用		
支払利息	257	283
支払補償費	111	-
その他	279	343
営業外費用合計	648	627
経常利益	8,804	7,295
特別利益		
固定資産売却益	272	79
投資有価証券売却益	1,695	44
為替換算調整勘定取崩益	-	69
その他	-	0
特別利益合計	1,967	193
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	84	32
関係会社株式売却損	-	10
減損損失	22	-
環境対策費	1,098	299
その他	4	4
特別損失合計	1,210	347
税金等調整前四半期純利益	9,561	7,141
法人税、住民税及び事業税	3,030	1,324
法人税等調整額	133	667
法人税等合計	2,897	1,992
四半期純利益	6,663	5,149
非支配株主に帰属する四半期純利益	718	382
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,945	4,767

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	6,663	5,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,265	230
繰延ヘッジ損益	15	12
為替換算調整勘定	712	1,461
退職給付に係る調整額	40	64
持分法適用会社に対する持分相当額	70	96
その他の包括利益合計	3,023	1,379
四半期包括利益	3,640	3,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,075	3,591
非支配株主に係る四半期包括利益	564	178

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
(連結の範囲の重要な変更) 第1四半期連結会計期間において、Krosaki Magnesita Refractories LLCは清算が完了したため、連結の範囲から除外しています。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

(イ)債務保証

前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
ひびき瀬開発株式会社 金融機関からの借入金 6百万円	ひびき瀬開発株式会社 金融機関からの借入金 5百万円
従業員 住宅資金の金融機関からの借入金 217百万円	従業員 住宅資金の金融機関からの借入金 217百万円

(ロ)債権流動化による遡及義務

前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
手形譲渡高	254百万円
	247百万円

2 四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しています。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が、四半期連結会計期間末残高に含まれています。

前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形	433百万円
支払手形	53百万円
電子記録債務	1,407百万円
	1,506百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	1,995百万円
のれんの償却額	291百万円
	2,284百万円
	368百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	1,011	120.0	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金
2018年10月31日 取締役会	普通株式	842	100.0	2018年9月30日	2018年11月30日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
 後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、2018年12月26日付で、連結子会社TRL KROSAKI REFRACTORIES LIMITEDの株式を追加取得しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が3,107百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が2,000百万円となっています。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	1,516	180.0	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金
2019年10月30日 取締役会	普通株式	842	100.0	2019年9月30日	2019年11月29日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日  
 後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	耐火物 事業	ファーネ ス事業	セラミッ クス事業	不動産 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	89,145	12,850	5,483	688	108,167	519	108,686	-	108,686
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	285	-	-	288	-	288	288	-
計	89,148	13,135	5,483	688	108,455	519	108,975	288	108,686
セグメント利益	5,410	1,481	908	559	8,360	11	8,371	77	8,449

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製鉄所向け石灰の製造販売です。

2 セグメント利益の調整額77百万円は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	耐火物 事業	ファーネ ス事業	セラミッ クス事業	不動産 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	88,089	10,996	4,895	623	104,605	590	105,195	-	105,195
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	304	-	-	313	-	313	313	-
計	88,098	11,301	4,895	623	104,918	590	105,509	313	105,195
セグメント利益又は 損失( )	5,484	527	489	531	7,032	37	6,995	32	7,027

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製鉄所向け石灰の製造販売です。

2 セグメント利益又は損失( )の調整額32百万円は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異です。

3 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益	705円55銭	565円88銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	5,945	4,767
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	5,945	4,767
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,426	8,424

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

## 2 【その他】

第129期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）中間配当について、2019年10月30日開催の取締役会において、2019年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	842百万円
1株当たりの金額	100円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年11月29日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月13日

黒崎播磨株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 蓮見 貴史 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山田 尚宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている黒崎播磨株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、黒崎播磨株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。